

役員室 だより

執行部による各部局等訪問

各部局の方々と率直な意見交換をすることを目的として、昨年11月から執行部による部局訪問を行っています。これまでに11の部局を訪問し、各部局の優れた取り組み、教育研究の成果、研究者の方々の声を直に感じることができました。

部局訪問は9月以降も継続し、全ての部局を訪問する予定です。引き続き、各部局のご協力をよろしくお願いいたします。

▼これまでの訪問部局

- 11月12日 産業科学研究所
- 12月3日 医学系研究科
- 17日 文学研究科
- 1月21日 人間科学研究科
- 2月4日 工学研究科
- 18日 外国語学部・言語文化研究科(箕面)
- 3月11日 理学研究科
- 5月13日 免疫学フロンティア研究センター
- 6月3日 経済学研究科
- 7月1日 薬学研究科
- 15日 基礎工学研究科



外国語学部・言語文化研究科(箕面)訪問

「大阪大学特別教授」 (平成26年7月1日付け称号付与)



吉森 保(よしもり たもつ)
(生命機能研究科・教授)
称号付与期間：H26.7.1～H29.6.30
功績：「細胞生物学、特にオートファジーに関する教育研究業績」



創立100周年世界適塾構想会議の設置

大阪大学では、創立100周年世界適塾構想会議を新たに設置しました。

この会議は、2031年の創立100周年、そして22世紀にも輝き続けるための将来構想を検討することを目的として総会と常設部会として5つのワーキンググループを置くことにしています。

今後の会議で検討された構想を念頭に大学運営を行い、2031年の創立100周年において「世界適塾」として世界トップ10の研究型総合大学になることを目指します。

理事・副学長 恵比須 繁之



創立100周年世界適塾構想会議

(常設部会)

- ・基本構想 WG
- ・キャンパス構想 WG
- ・病院構想 WG
- ・創立100周年ゆめ募金実行 WG
- ・第3期中期目標・中期計画に関する WG

総会

大阪大学経営協議会学外委員

氏名	役職名	備考
相澤 益男	独立行政法人科学技術振興機構顧問	○
井上 礼之	ダイキン工業株式会社取締役会長 兼グローバルグループ代表執行役員	
上山 隆大	慶應義塾大学総合政策学部教授	○
岡本 園衛	日本生命保険相互会社代表取締役会長	
尾崎 裕	大阪ガス株式会社代表取締役社長	
川島 康生	独立行政法人国立循環器病研究センター 名誉総長	○
小林 栄三	伊藤忠商事株式会社取締役会長	○
佐藤 行雄	公益財団法人日本国際問題研究所副会長	○
角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長	
手代木 功	塩野義製薬株式会社代表取締役社長	
友野 宏	新日鐵住金株式会社代表取締役副会長	○
南部真知子	株式会社神戸クルーズー会長	
野路 國夫	株式会社小松製作所代表取締役会長	
渡辺 克信	朝日放送株式会社特別顧問	

※備考欄に○印を付している方は、総長選考会議委員も兼ねる

「秋季入学式」を英語で実施

今年度から、秋季(9月・10月)に入学する学部学生及び大学院学生を対象とした「秋季入学式」を実施することとしました。

今年度は、10月1日に吹田キャンパスのコンベンションセンターで挙行します。

秋季入学生の多くが外国人留学生であることから、式の始まりから終わりまでをすべて英語で実施することとされています。

また、毎年9月に実施しています「大学院学位記授与式」は、「総長式辞」を今年度から英語で行うことといたしました。

○秋季入学式

日時：平成26年10月1日(水) 午前10時30分～
場所：コンベンションセンター MOホール

○大学院学位記授与式

日時：平成26年9月25日(木) 午前11時～
場所：コンベンションセンター MOホール

理事・副学長 東島 清

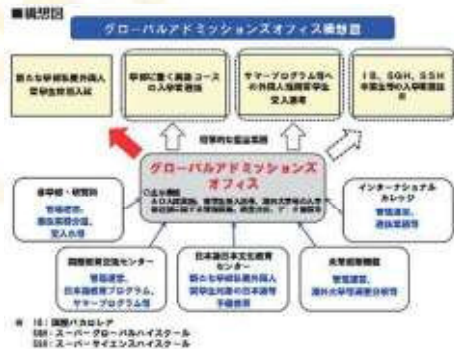
グローバルアドミッションズオフィス
を設置

国内外から優秀な学生を受け入れ、各方面で指導的立場に立てるグローバル人材を育成し、世に送り出すという志を実現するための方策の一つとして、6月1日付けで大阪大学グローバルアドミッションズオフィス (GAO: Global Admissions Office) を設置しました。

GAOは、アドミッション・ポリシーに基づく適切な入学者選抜のあり方を研究開発し、多面的・総合的な選抜を実施することにより、国内外からの優秀な学生を受け入れ、教育の国際化の推進に資することを目的としています。オフィス長は教育担当理事が兼任し、その他の構成員は、現在、関係部局からの9名の兼任教員です。

今年度は、AO入試等に係る国内外の大学の調査研究の他、海外在住者を対象とし、学部入学前に半年間の日本語教育等を行う新たな私費外国人留学生特別入試の実施を予定しています。今後の運営に当たっての各部局のご協力方、よろしくお願いたします。

理事・副学長 東島 清



○GAO ウェブページ
www.osaka-u.ac.jp/ja/academics/ed_support/gao

未来知創造プログラムを選定

大阪大学で活躍する若手研究者が連携する「学内共同研究の仕組みづくり」を支援することにより、本学の将来を支える多様な研究を育み、創造性に富んだ、チャレンジングで独創的なアイデアと未来を拓く人材を輩出することを目的として、「未来知創造プログラム」を創設しました。

学内公募に対して58件の申請があり、選考委員会において、12件の研究課題を選定しました。

選定された研究課題には、共同研究の実施及び研究成果の取りまとめに必要な経費に対し、1年度当たり最大300万円、最長3年間の支援を行います。

今回選定した12件の研究課題は以下のとおりです。

理事・副学長 相本 三郎

未来知創造プログラム 採択一覧

研究代表者氏名 (所属・職名)	研究課題名
橋本 順光 (文学研究科・准教授)	日タイ文化交流史の研究 —山田長政から柳澤健まで—
中川 威 (人間科学研究科・助教)	超高齢期における虚弱と適応: 生物心理社会的アプローチ
松村 真宏 (経済学研究科・准教授)	シカケデザインワークショップの開発
菊田 順一 (医学系研究科・助教)	医工情報学の連携による蛍光生体 イメージング技術の開発と細胞遊 走ダイナミクスの統合的解明
久保 盾貴 (医学系研究科・講師)	傷あとを残さない医療を目指して
波多 賢二 (歯学研究科・准教授)	変形性関節症に対する新規治療 法開発の分子基盤の構築
村上 旬平 (歯学部附属病院・助教)	歯科医療現場における障害のある 子どもとその親への包括的支援 プログラムの開発
中澤 敬信 (薬学研究科・特任准教授)	活動する患者由来神経細胞を用 いた統合失調症の分子病態研究
黒崎 健 (工学研究科・准教授)	ナノ構造シリコン高効率熱電変換 材料の開発
永井 正也 (基礎工学研究科・准教授)	真空紫外超短光緒パルスを用い た光電子分光装置の開発とその 分析機器への展開
満留 敬人 (基礎工学研究科・助教)	二酸化炭素から基礎化学品を作る 革新的グリーン技術の開発
藤田 英明 (免疫学フロンティア研究 センター・特任准教授)	細胞シート内の単一細胞蛍光観察 による細胞の力学応答メカニズム の解明

平成26年度研究成果の国際的発信
支援プログラム:英語論文の投稿
支援の申請を受付中

「研究大学強化促進事業」の一環として、新たに「研究成果の国際的発信支援プログラム:英語論文の投稿支援」の募集を6月11日から開始しました。

この支援プログラムは、若手研究者・女性研究者を対象に、海外の学術誌への英語論文の投稿を支援することにより、研究成果の国際的発信力を一層高め、本学の研究力の強化を促進することを目的としています。

個々の研究者に対して、学術英文校正業者への利用手続や校正費用の支援とともに、大型教育研究プロジェクト支援室のURAによる相談対応等の継続的なサポートを行います。また、当該論文及び関連研究のアウトリーチ支援、プレゼンテーション支援等も行います。なお、外国人研究者も支援を受けやすいように、支援の全過程において、日本語・英語・中国語・フランス語で対応することができます。

申し込みの締切日を毎月、設けています。詳細については、大型教育研究プロジェクト支援室のウェブサイト(www.ura.osaka-u.ac.jp)をご覧ください。皆様の積極的な応募をお待ちしています。

理事・副学長 相本 三郎

	受付期間	校正用原稿 提出締切
1回目	6月11日～30日	8月1日
2回目	7月10日～31日	9月1日
3回目	8月11日～29日	10月1日
4回目	9月10日～30日	10月31日
5回目	10月10日～31日	12月1日
6回目	11月11日～28日	12月26日
7回目	12月15日～1月8日	2月10日

論文剽窃チェックツール「iThenticate」
を導入

大学における学術研究の信頼性向上を目的として、学術論文の盗用や二重投稿、参考文献や引用の漏れなどを検出する、「iThenticate」という論文チェックツールを6月に導入しました。

「iThenticate」は既に発表された論文等との比較を行い、類似部分を検出するツールで、「Cross Check」に参加している学術ジャーナルや公開されているインターネットのコンテンツ等から検出を行います。

ツールを使うことができるのは本学の教員及び研究員で、自らが著者あるいは共著者となっている投稿前の論文や、指導する大学院生の博士論文をチェック対象としています。

既に1,458名(6月30日現在)がユーザー登録を行い、6月20日には業者による操作説明会を3キャンパスで開催しました。

「iThenticate」の利用に関する情報やマニュアルは、学内専用サイト「マイハンドアイ」に掲載しています。

是非活用してください。

【掲載場所】

マイハンドアイホーム > 大学本部事務機構
> 研究推進関係

理事・副学長 相本 三郎



iThenticate のチラシより抜粋

役員室だより

環太平洋大学協会 (APRU) 第18回年次学長会議に参加

6月24日、25日に本学が加盟し、理事校に就任している環太平洋大学協会 (APRU) の第18回年次学長会議がオーストラリア国立大学主催で開催され、平野俊夫総長が出席しました。

今回は、「Big Data and The Shape of Things to Come」のテーマのもと、セッションが行われた後、Presidents Open Forumで平野総長が「世界適塾」について、未来戦略機構の石川真由美教授がAPRUにおける女性リーダーシップへの取組みについてプレゼンテーションを行いました。

今回は、平成27年6月28日～30日、大阪大学が主催校で開催しますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

※APRU (環太平洋大学協会)

環太平洋地域を代表する16か国・45大学の学長で構成。各国・地域の高等教育の相互協力関係を強め、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的として1997年に設立。

理事・副学長 岡村 康行



オーストラリア国立大学での年次学長会議

施設整備とキャンパス環境の改善

平成26年3月に、様々な効果が期待できる施設が完成しました。

吹田キャンパスでは、プロジェクト実験及び臨床研究スペースを有する最先端医療イノベーションセンター棟の新築、核物理研究センター本館・社会経済研究所A棟の耐震改修、核物理研究センターリングサイクロロン棟に省エネ環境を推進する大規模太陽光発電設備 (150kW) を設置しました。

豊中キャンパスでは、法経講義棟の耐震改修、オープンラボを主体とする教育研究を行う文理融合型研究棟、グラウンド北側に普段は学生が体育授業の更衣室やクラブのミーティングなどに利用し、災害時には被災者の救護所等として活用できるシャワールーム・備蓄庫を備えた多目的倉庫を新築しました。

また、山田団地の吹田留学生会館は耐震改修と共に各寮室にユニットシャワー及びコミュニケーションスペースを設け、グローバル環境を改善しました。

理事・副学長 恵比須 繁之



太陽光発電設備 (吹田・核物理研究センター)



多目的倉庫 (豊中・グラウンド北側)

女性教員の採用を推進しています!!

昨年度1年間における男女別の教員採用割合の集計の結果、本学における女性教員の採用割合は23.0%と、一昨年度 (17.9%) と比較して大幅に増加しました。これは、大阪大学男女共同参画推進基本計画 (平成24年4月男女共同参画推進委員会) に掲げる“平成27年度までに20%”という目標を前倒して達成するものです。

その結果、5月1日現在における女性教員の在職割合も13.5%と、一昨年度以降、増加傾向にあります。残念ながら、職階が上がるほど女性の割合が低い、また、プロジェクト雇用における女性の採用割合が高いといった傾向も依然として続いている状況です。

本学が目指す「調和ある多様性の創造」のためには、多様な人材による多様な知の結集が不可欠であり、性別に関わらず全ての構成員がその持てる力を最大限発揮できる大学づくりを進めていく必要がありますので、引き続き、皆様のご理解とご尽力をよろしくお願いいたします。

理事 大木 高仁



【参考】女性教員の採用割合・在職割合の推移
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/diversity>

事務活性化通信「活性化Motto!」 を発行

平成16年の法人化後、国立大学はいわば「大競争」の環境に置かれています。そうした中で、本学が我が国屈指の研究型総合大学としてそのプレゼンスを高め、世界に羽ばたくためには、大学運営や教育研究の基盤を抜本的に強化していくことが不可欠です。

教員とともにそれを支えるのが事務職員であり、その資質能力の向上は極めて重要です。このような観点から、職員一人一人の意識改革を図り、優秀な人材の育成に資するべく、「もっと」事務活性化を目指すための情報誌「活性化Motto!」を発行しました。

本誌では、職員の自己成長につながるキッカケとなるよう、大学をめぐる最新の動向のほか、特に各部署・個人による優れた取組みを紹介することに力点を置いています。

職員からの寄稿も募り双方向で情報を共有することで、コミュニケーションの活性化を図っていききたいと考えていますので、事務活性化に関する取組事例や掲載を希望するトピックスがあれば、積極的に情報提供をお願いいたします。

理事 大木 高仁



活性化通信のロゴ

※本誌は学内専用サイト「マイハンドاي」からご覧いただけます。

【掲載場所】

マイハンドايホーム > 大学本部事務機構 > 総務関係
> 事務改革